

イギリスにおける住宅ローン担保証券（MBS）市場の展開

獨協大学大学院 築田優

イギリスのMBS市場は、現在アメリカに次いで世界第2位の規模を誇る。しかし、イギリスのMBSはアメリカのMBSとは異なり政府による信用補完等はされておらず、そのためMBS市場も市場参加者が主導する形で現在に至った。そのようなこともあり、イギリスのMBS市場は順調に拡大を続けてきたわけではなかった。

イギリスでMBSの発行が開始されたのは1987年で、この時期は住宅市場の好調にも支えられて第1次MBSブームが起こった。そして、このブームでMBSを積極的に発行したのはモーゲージカンパニーであった。ところが、1990年代初頭にイギリス経済および住宅市場が停滞すると、それに伴いモーゲージカンパニーの多くが倒産し、それに伴い第1次MBSブームも終了した。

しかし、1990年代中頃にイギリス経済および住宅市場が再拡大をはじめると、それに支えられて再びMBS市場も拡大をはじめ、第2次MBSブームが起こった。ただし、このブームでMBSを積極的に発行したのは、前回のブームとは異なり商業銀行であった。そして2000年代を通じて市場は拡大を続け、特に2005年以降は著しく拡大した。ところが、2007年夏以降に世界の金融市場が危機に陥ると、この影響を受けてイギリスのMBS市場も停滞し、それに伴い第2次MBSブームは終了した。

また、近年一部のイギリス金融機関では、資金調達を大部分をMBSの発行で行うケースが見られた。そのような金融機関は、最近の金融危機とMBS市場の停滞で流動性危機に瀕することとなった。